

外来医師担当表(2013 年 7 月 1 日現在) 変更がある場合がございます。ご了承下さい。

曜日	時間	内科	外科・消化器科	整形外科	婦人科	循環器科(呼吸器外科)
月	午前	西堀・潤間 芦澤	坂田	雅楽・眞鍋 高野	田中 9:30～	大貫
	午後	多田・新井 福原	栃木 乳腺外来(藤田)	雅楽・高野 第 1、3、5 加藤		
火	午前	多田 根本・桑原	鈴木 眞田 10:00～	小川 久保田		
	午後	潤間 伊藤・桑原	落合	小川/久保田 (交代制)		
水	午前	多田・齋藤 川島	清水 坂田	雅楽・加藤 吉田		大貫
	午後	西堀・新井・宮澤 糖尿病(伊藤)※1		スポーツ診(桜庭)・吉田 ・※第 2,4 のみリウマチ診(雅楽)		
木	午前	西堀・新井 鈴木(眞)	鈴木	二見 河野・井下田	田中 9:30～	
	午後	岩本・鈴木(眞) 糖尿病(伊藤)※1		井下田・ 第 2,3,4,5 河野		
金	午前	齋藤・佐藤 代診(交代制)	藤田	眞鍋 落合	田中 9:30～	大貫
	午後	亀井・野元・呼吸器内科 (14:00～15:45)潤間・ 糖尿病(伊藤)※1	清水 眞田	落合		宮路
土	午前	河西 甲斐	清水/坂田 (交代制)	・第 1,3,5 二見・第 2,4 加藤・ 第 1,3,4,5 佐久間・第 2 馬場・成嶋 ・第 1 小林・第 3 本間 ・第 4 酒井・第 5 市原	田中 9:30～	大貫
	午後	第 1、3、5 消化器 外来(丸山)・須永・ 塚本(第 2 のみ交代制)		・第 1,3,4,5 佐久間・第 2 馬場・成嶋 ・第 1 小林・第 3 本間・第 4 酒井 ・第 5 市原		

※1 紹介状の持参、もしくは当院他科を受診してからの予約となります。

※ 女性医師は赤字で記載しております。※ 婦人科外来の診療時間は 9:30～12:00 となります。

ゆうあい伝言板

次回の公開講座

・第 3 回：平成 25 年 11 月 28 日(木)
15 時～16 時
「地域で安心して生活するために
～医療や介護を上手に活用するポイント～」
講師
ケアマネージャー、看護師、社会福祉士
会場
ゆうあい健康スポーツセンター



糖尿病教室のお知らせ

毎月第 4 木曜日 13 時～14 時、ゆうあい健康スポーツセンター(病院地下 1 階)にて開催中。医師、看護師、栄養士などが、それぞれ専門の観点から「糖尿病」について講演いたします。
予約不要、参加費無料で、ご興味のある回だけご参加いただくこともできます。
「皆様が健康で充実した生活が送れるようお手伝いをさせていただけたら・・・」それが私たちの願いです。
皆様のご参加を心よりお待ちしております



編集後記

気がつけば今年も半分が過ぎ、夏本番を迎えようとしています。暑さに負けて、つい冷房や冷たい飲食物に走りがちですが、今年は少し控えて、地球にも体にもエコで行こうと思います。S



2013 年 7 月発行

編集・発行 最成病院

☎043-258-1211

<http://www.saisei.or.jp>

Vol.25



医療法人社団 有相会

最成病院
Tel.043-258-1211介護老人保健施設 ゆうあい苑
Tel.047-480-2111最成病院ヘルスケアセンター
Tel.043-257-8111グループホームかしわい
Tel.047-480-2165ゆうあい健康スポーツセンター
Tel.043-258-0526最成病院 居宅介護支援室
Tel.047-480-2133

医療連携の会が開催されました。

平素は最成病院地域医療連携の会の活動につきましてご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで9回目の会を無事開催することができました。当日は診療後のお疲れの中、多数の先生方にご出席いただき心より感謝申し上げます。

今回の特別講演は千葉大学医学部附属病院総合診療部 塚本知子先生による「千葉大学総合診療部の取り組み～外来診療のピットフォール～」をご講演いただきました。総合診療部という耳慣れない診療科で、実のところ詳しくはわかっていませんでした。今回の塚本先生のご講演で主訴が各専門診療科の境界領域であり、即座に受診すべき診療科が決まらない患者さんや高齢者のように問題となる疾患を複数有する患者さんの診断の窓口的な存在であることを知りました。時に重症の救急疾患が含まれていることもあるとお聞きし、各専門診療科との連携がとても大切であると感じました。



総合診療科は大変幅広く多岐にわたる領域で診療されています。これは地域の先生方も同じではないでしょうか。各々標榜科を掲げてはおられますが「街のお医者さん」「私の先生」と思われている地域の患者さんは様々な訴えや相談をなさることでしょう。ある意味、地域で開業されている先生方も総合診療科の役割を担っているのではないのでしょうか。

最成病院はその地域の先生方と連携を図り、地域住民の健康を支えていくことが役割であります。まだまだ力不足ではありますが地域の中核病院としての役割遂行に邁進してまいります。どうか宜しくお願い致します。

看護師長 鵜田 佳容子





最成 健康便り



～心筋梗塞・狭心症～



循環器科
部長 大貫 尚好

今号から始めました「最成 健康便り」。

当院の医師が、毎回「病気」についての説明や日常生活でお役に立つ情報を発信し、皆様にご紹介していくコーナーです。

記念すべき第 1 回は当院の副院長で循環器科部長である大貫尚好医師が「心筋梗塞・狭心症」についてご説明いたします。私たちが日常生活を送る上でのヒントがきっと書かれていると思います。ご一読いただき、皆様の健康維持・向上の一助としていただけたら幸いです。

はじめに

心筋梗塞というと肥満、高血圧、糖尿病など生活習慣病の行き着く先というイメージが強いと思います。ところが先日ある有名女優が軽い心筋梗塞で倒れ、舞台を降板したことにビックリされた方は少なくないと思います。若くてやせ型な人でも発症する心筋梗塞の原因とは何なのでしょう。



心筋梗塞とは・・・



心筋を栄養としている直径 2～3 ミリの動脈が詰まり心筋が動かなくなる疾患のことを言います。その動脈が詰まる原因の 6 割は血管の壁内に蓄積した脂質が血管内腔に破裂して血栓が出来てしまうことによって発症し、肥満など脂質過多の人に多く見られます。3 割程度はエロージョンといって血管内皮細胞が剥がれたところに血栓が形成されることによるもので、内皮機能が障害されやすい糖尿病や喫煙者に多く見られます。残りの 1 割は血管が痙攣して閉塞してしまう状態で発症し、生活習慣病とは関係のない人でも起こり、特に女性に多く見られます。

心筋梗塞にならないための対策は・・・

まずリスクファクター（高脂血症、高血圧、糖尿病）をコントロールし、喫煙しないことが大切です。それと心筋梗塞になる人の多くは、狭心症の状態を経験しています。胸の圧迫感、痛みが運動したときに出現する人や、早朝に胸痛が起こる人は狭心症の可能性がありますので、無理をせず、必ず医療機関を受診するようにして下さい。



きずな直送便～リハビリテーション編～



こんにちは。リハビリテーション科科長の佐治と申します。今回は私たちリハビリテーション科について、ご紹介させていただきます。

リハビリテーション科は最成病院と、ゆうあい苑に職員がおり、理学療法士(PT)28 名、作業療法士(OT)4 名、言語聴覚士(ST)3 名の 35 名の明るく元気なスタッフが “ 患者さんの持つ能力を最大限に引き出す ” ことを第一に日々研鑽に努めております。

急性期から回復期、退院までを各セラピスト（療法士）が責任をもってサポートいたします。また外来でのリハビリを縮小する病院が増加している中で、外来リハビリにも力を注いでいるのも当院の特徴です。

これからも個人個人の状態に応じた最適なリハビリテーションを提供していきます。

リハビリテーション科のモットー

「積極的なリハビリ」～明るく、楽しく前向きに～

「潜在能力を引き出すリハビリ」～全ての人間は、まだ引き出されていない潜在能力を持っている～



私たちが
お手伝いします!!

積極的なリハビリ
を提供します!



ゆうあい苑でバザーが開催されました!



先日、6 月 9 日（日）快晴の中バザーが開催されました。当日は、300 名近くの参加があり大盛況の中無事に終わりました。当日は、フリーマーケットやフランクフルト、焼きそば、たこ焼き、パンの移動販売、野菜／お花の販売会などもありました。ご近所の皆さんと施設入所中の利用者・職員との交流も図れ、とても有意義な一日でした。

ゆうあい苑は、地域住民の生活リハビリ支援施設として平成 18 年に開設されました。入所リハビリ・通所リハビリに力を入れ今後も地域で安心して暮らせるように「リハビリ」をキーワードに生活支援をしていきます。また、介護の相談ができる居宅介護支援室や認知症の生活介護（グループホーム）などの施設も併設されています。介護や福祉・医療などお困りの際は、ゆうあい苑までご連絡下さい。

地域の福祉、保健の情報発信の拠点として最成病院と共に今後も貢献いたします。

今後もよろしくお願い致します。

ゆうあい苑 連絡先（代表）047-480-2111

※当日の売り上げは、日本赤十字社を通じて東日本大震災義援金に寄付させて頂きました。バザーに提供頂いた方々には、本当に感謝申し上げます。有難うございました。



会場の様子



彩り弁当



プログラム